

# 佐賀県感染症発生動向調査速報

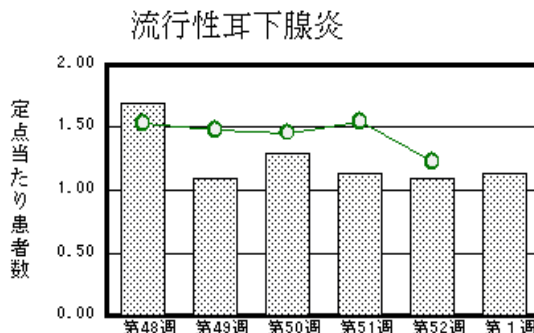
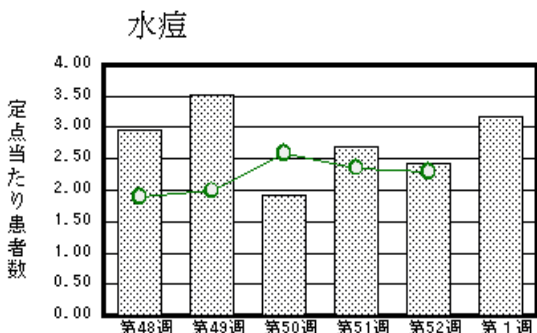
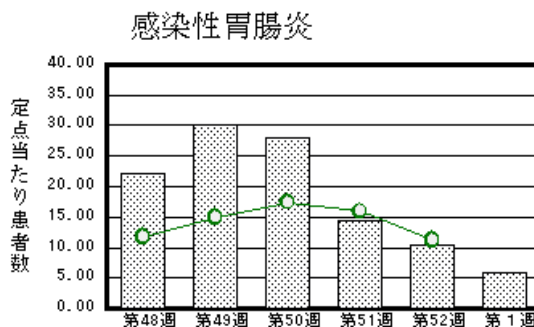
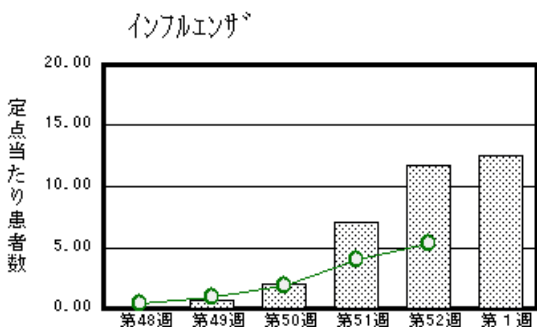
平成18年第1週 平成18年1月2日(月)～平成18年1月8日(日)

<http://www.kansen.pref.saga.jp>

佐賀県感染症情報センター

## 注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】 インフルエンザ(487名) 感染性胃腸炎(138名) 水痘(73名)  
流行性耳下腺炎(26名) 咽頭結膜熱(16名) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(16名)
- 【インフルエンザ】患者報告数が増加しました(456名 487名)。日ごろから十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、うがい、手洗い等感染予防に努めましょう。詳しくは佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。  
<http://www.kansen.pref.saga.jp/influenza/influenza.html>
- 【感染性胃腸炎】患者報告数が減少しました(242名 138名)。



棒グラフは佐賀県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては佐賀県感染症情報センターのホームページを御覧ください。<http://www.kansen.pref.saga.jp>

## 全国版感染症週報 (DWR) 2005年第50週号 (12月12日～12月18日) 要点

・ 発生動向総覧	<第50週> A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向 <11月> 性感染症 薬剤耐性菌感染症 結核について
・ 注目すべき感染症	<インフルエンザ> 第50週の定点当たり報告数は全国レベルで1.88となり、今シーズン初めて流行の指標である1.0を上回った <感染性胃腸炎> 第50週の定点当たり報告数は17.4と、1995年以降の11年間では最高値を記録した
・ 病原体情報	インフルエンザウイルス2005/06シーズン / 冬季の感染性胃腸炎関連ウイルス2005/06シーズン
・ 速報	川崎市におけるB型インフルエンザウイルスの分離
・ 海外感染症情報	ギニアでの黄熱流行 / 米国での大腸菌O157流行 / インドネシアでの鳥インフルエンザ流行状況 / ニューヨーク市内の病院の新生児 / 産科病棟での結核院内感染事例2003年 / 鳥インフルエンザA/H7N7型株のヒト・ヒト感染伝播 - オランダ2003年
・ 感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページを御覧ください。<http://www.idsc.nih.go.jp>

# 佐賀県感染症発生動向調査速報

http://www.kansen.pref.saga.jp

佐賀県感染症情報センター

全数届出の感染症 (佐賀県)

今週の届出はありませんでした。

## 佐賀県感染症発生動向調査

定点報告 (五類感染症 (週報分))

平成18年第1週 平成18年1月2日 (月)~平成18年1月8日 (日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	佐賀中部 保健所	鳥栖 保健所	唐津 保健所	伊万里 保健所	杵藤 保健所	計	前週	全国 (第52週)
インフルエンザ (39)	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	159 12.23	73 14.60	77 11.00	28 5.60	150 16.67	487 12.49	456 11.69	24775 5.34
小児科 (23)	RSウイルス 感染症	1 0.13	1 0.33	1 0.25		3 0.60	6 0.26	6 0.26	1864
	咽頭結膜熱	3 0.38	4 1.33		1 0.33	8 1.60	16 0.70	32 1.39	1068 0.35
	A群溶血性レン サ球菌咽頭炎	5 0.63	8 2.67	2 0.50	1 0.33		16 0.70	34 1.48	3314 1.10
	感染性胃腸炎	26 3.25	22 7.33	35 8.75	14 4.67	41 8.20	138 6.00	242 10.52	33595 11.15
	水痘	5 0.63	30 10.00	16 4.00	16 5.33	6 1.20	73 3.17	56 2.43	6942 2.30
	手足口病					4 0.80	4 0.17	12 0.52	328 0.11
	伝染性紅斑			2 0.50	1 0.33		3 0.13	4 0.17	461 0.15
	突発性発しん	3 0.38	4 1.33	5 1.25	1 0.33	2 0.40	15 0.65	21 0.91	1320 0.44
	百日咳								23 0.01
	風しん								10 0.00
	ヘルパンギーナ	1 0.13	1 0.33				2 0.09	2 0.09	98 0.03
	麻しん (成人 麻しんを除く)								3 0.00
	流行性耳下腺炎	5 0.63	11 3.67	1 0.25	3 1.00	6 1.20	26 1.13	25 1.09	3720 1.23
眼科 (4)	急性出血性結膜炎								11 0.02
	流行性角結膜炎			1 1.00		1 1.00	2 0.50	2 0.50	399 0.62
基幹 (6)	細菌性髄膜炎							1 0.17	5 0.01
	無菌性髄膜炎	1 0.50					1 0.17		9 0.02
	マイコプラズマ肺炎								114 0.24
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)								9 0.02
	成人麻しん								

インフルエンザは、小児科定点 + 内科定点。

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は50週分 (患者報告数)である。

佐賀県感染症発生動向調査 (定点報告 :五類感染症)

平成18年第1週 平成18年1月2日(月)~平成18年1月8日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ (高病原性鳥イン フルエンザを除く)	小児科 定点	RSウイルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルバ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科 基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎(オ ウム病を 除く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満	2	6ヶ月未満	1			1	6			3						6ヶ月未満								
12ヶ月未満	16	12ヶ月未満	2	2		8	1			6						12ヶ月未満								
1歳	41	1歳	2			16	13	2		6			1			1歳								
2歳	50	2歳				1	7	16	2							2	2歳							
3歳	40	3歳		6	2	11	11						1			2	3歳							
4歳	26	4歳		4	2	14	10		1							2	4歳							
5歳	22	5歳				13	8		2							7	5歳							
6歳	28	6歳		1	3	10	6									5	6歳							
7歳	22	7歳				1	8									5	7歳							
8歳	8	8歳		1	1	2	1									1	8歳							
9歳	15	9歳		2	1	10										1	9歳							
10歳~14歳	40	10歳~14歳	1		3	18	1									1	10歳~14歳				1			
15歳~19歳	16	15歳~19歳				7											15歳~19歳							
20歳~29歳	59	20歳以上			2	13											20歳~29歳							
30歳~39歳	51																30歳~39歳		1					
40歳~49歳	25																40歳~49歳		1					
50歳~59歳	14																50歳~59歳							
60歳~69歳	6																60歳~69歳							
70歳~79歳	3																70歳以上							
80歳以上	3																							
合計	487	合計	6	16	16	138	73	4	3	15			2		26	合計		2		1				
前期計	456	前期計	6	32	34	242	56	12	4	21			2		25	前期計		2	1					
当期間/前	1.07	当期間/前	1	0.5	0.47	0.57	1.3	0.33	0.75	0.71	***	***	1	***	1.04	当期間/前	***	1		***	***	***	***	
増減数	31	増減数		-16	-18	-104	17	-8	-1	-6					1	増減数			-1	1				

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

\*\*\*は前期計が"0"のとき

